

2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月8日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東
コード番号 3668 URL https://colopl.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 貴志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 原井 義昭 TEL 03(6721)7770
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	12,714	△20.0	273	△85.9	727	△54.8	120	△87.1
2023年9月期第2四半期	15,897	1.5	1,944	△10.4	1,607	△40.4	932	△48.3

（注）包括利益 2024年9月期第2四半期 △31百万円（-％） 2023年9月期第2四半期 627百万円（△65.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	0.94	-
2023年9月期第2四半期	7.27	-

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	81,111	73,674	90.8
2023年9月期	81,695	76,234	93.3

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 73,667百万円 2023年9月期 76,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	-	-	-	-

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2024年9月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社 （社名）コロプラネクスト上場株1号ファンド投資事業組合

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、Colopl Next Korea, Inc. は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	130,144,640株	2023年9月期	130,055,005株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	1,778,719株	2023年9月期	1,778,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	128,321,127株	2023年9月期2Q	128,240,958株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「“Entertainment in Real Life” エンターテインメントで日常をより楽しく、より素晴らしく」をMissionとし、エンターテインメントを通じ、人々の何気ない日常をより豊かにすることを目指しております。当第2四半期連結累計期間において、エンターテインメント事業では、ユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識した既存タイトルの運用及び新規タイトルの開発に注力してまいりました。投資育成事業では、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,714百万円（前年同四半期比20.0%減）、営業利益は273百万円（同85.9%減）、経常利益は727百万円（同54.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120百万円（同87.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

a. エンターテインメント事業

エンターテインメント事業は、主にスマートフォン向けゲームの開発・運営を行っております。

当第2四半期連結累計期間において、売上の多くを占めるスマートフォン向けゲームでは、「ドラゴンクエストウォーク（企画・制作：株式会社スクウェア・エニックス、開発：当社）」が堅調に推移し、当社グループの連結業績に貢献しました。また、自社IPの「白猫プロジェクト」や「とらべる島のにゃんこ」が人気IPとのコラボイベントを実施するなど、ユーザーとのエンゲージメントを高めるサービス運用を行ってまいりました。既存タイトルの通減により減収となったほか、今後リリースを控えるブロックチェーン事業の費用が先行いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は12,344百万円（前年同四半期比20.0%減）、営業利益は389百万円（同81.9%減）となりました。

b. 投資育成事業

投資育成事業は、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っております。

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ出資ファンドにおける営業投資有価証券の売却等による収益が発生しました。また、保有する営業投資有価証券の一部について減損処理を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は369百万円（前年同四半期比20.0%減）、営業損失は116百万円（前年同四半期は207百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は72,015百万円（前連結会計年度末比2,874百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金と売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

また、固定資産は9,095百万円（同2,290百万円増）となりました。これは主に、投資その他の資産が増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は81,111百万円（同583百万円減）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は5,131百万円（同804百万円増）となりました。これは主に、その他の流動負債が増加したことによるものであります。

また、固定負債は2,304百万円（同1,171百万円増）となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は7,436百万円（同1,975百万円増）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は73,674百万円（同2,559百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,321百万円減少し、56,845百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは1,544百万円の増加(前年同四半期は949百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少944百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは2,646百万円の減少(前年同四半期は8,903百万円の増加)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出2,941百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは562百万円の減少(前年同四半期は2,559百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額2,565百万円と長期借入れによる収入2,000百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示はいたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,960	56,840
売掛金及び契約資産	4,733	3,802
営業投資有価証券	9,908	9,697
棚卸資産	442	568
その他	1,864	1,116
貸倒引当金	△21	△10
流動資産合計	74,889	72,015
固定資産		
有形固定資産	1,780	1,795
無形固定資産	20	13
投資その他の資産		
その他	5,004	7,297
貸倒引当金	△0	△11
投資その他の資産合計	5,004	7,286
固定資産合計	6,805	9,095
資産合計	81,695	81,111
負債の部		
流動負債		
未払金	2,226	2,134
未払法人税等	380	679
その他	1,720	2,317
流動負債合計	4,327	5,131
固定負債		
長期借入金	—	1,333
資産除去債務	745	782
その他	387	189
固定負債合計	1,133	2,304
負債合計	5,460	7,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,610	6,635
資本剰余金	6,350	6,373
利益剰余金	66,358	63,900
自己株式	△4,645	△4,645
株主資本合計	74,673	72,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,206	1,026
為替換算調整勘定	348	376
その他の包括利益累計額合計	1,555	1,402
非支配株主持分	5	7
純資産合計	76,234	73,674
負債純資産合計	81,695	81,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	15,897	12,714
売上原価	10,653	9,255
売上総利益	5,244	3,458
販売費及び一般管理費	3,299	3,184
営業利益	1,944	273
営業外収益		
受取利息	78	160
為替差益	—	79
投資有価証券売却益	225	226
投資事業組合運用益	—	15
デリバティブ運用益	—	17
雑収入	25	45
営業外収益合計	328	544
営業外費用		
為替差損	462	—
投資有価証券評価損	—	54
投資有価証券売却損	54	21
デリバティブ運用損	144	—
雑損失	3	15
営業外費用合計	665	91
経常利益	1,607	727
特別損失		
減損損失	—	29
特別損失合計	—	29
税金等調整前四半期純利益	1,607	697
法人税等	675	576
四半期純利益	932	121
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	932	120

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	932	121
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△328	△180
為替換算調整勘定	22	27
その他の包括利益合計	△305	△152
四半期包括利益	627	△31
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	627	△31
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,607	697
減価償却費	151	127
減損損失	—	29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
為替差損益 (△は益)	487	△80
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	295	194
投資有価証券売却損益 (△は益)	△170	△204
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	54
デリバティブ運用損益 (△は益)	144	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	△180	944
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△24	△125
仕入債務の増減額 (△は減少)	4	△67
未払金の増減額 (△は減少)	△41	△90
未払消費税等の増減額 (△は減少)	175	△38
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△57	△9
前受金の増減額 (△は減少)	318	45
前払費用の増減額 (△は増加)	122	117
その他	△241	73
小計	2,593	1,649
利息及び配当金の受取額	92	168
利息の支払額	—	△1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,737	△272
営業活動によるキャッシュ・フロー	949	1,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,412
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△28	△101
無形固定資産の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の取得による支出	△2,640	△2,941
投資有価証券の売却による収入	1,906	1,736
関係会社株式の取得による支出	△209	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△0
敷金及び保証金の回収による収入	0	3
先物決済による収入及び支出 (△は支出)	△115	25
その他	△3	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,903	△2,646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000
配当金の支払額	△2,559	△2,565
その他	△0	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,559	△562
現金及び現金同等物に係る換算差額	△439	159
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,854	△1,505
現金及び現金同等物の期首残高	50,914	58,167
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	184
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,768	56,845

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

Colopl Next Korea, Inc. は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。
また、コロプラネクスト上場株1号ファンド投資事業組合は清算終了により、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日至2023年3月31日)
 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,434	462	15,897	—	15,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,434	462	15,897	—	15,897
セグメント利益又は損失(△)	2,150	△207	1,943	1	1,944

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日至2024年3月31日)
 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,344	369	12,714	—	12,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,344	369	12,714	—	12,714
セグメント利益又は損失(△)	389	△116	272	1	273

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。